

豊かな自然と文化にはぐくまれ やさしさと活力に満ちたまちづくり

那須の山々を源にゆったりと流れる那珂川、八溝山系の恵みを受け緑豊かな美しい自然、そして豊穡の大地が広がる「那珂川町」。

平成17年10月1日、馬頭町と小川町が「平成の大合併」による合併で、那珂川町は誕生しました。それぞれの地域が培ってきた歴史、伝統、文化、風土を大切にしながら、町民と行政が一体となった「町民参加のまちづくり」を目指し、新たな地方自治を確立するため各種施策に取り組んでまいります。

次の世代へ、より美しい自然とより魅力的な暮らしに向かって今、那珂川町は新しいまちづくりに歩みはじめました。

この町勢要覧が、那珂川町をご理解いただくための一助となれば幸いです。

Creating a Town Filled with Kindness and Vitality Nurtured by Nature and Culture

The Nakagawa River flowing leisurely from its source in the Nasu Mountains, bountiful natural beauty bestowed by the Yamizo Mountains, and fertile, expansive land—this is Nakagawa Town, created by the merger of the towns of Bato and Ogawa on October 1, 2005.

While preserving the history, traditions, culture and customs cultivated in each former town, we are working on various policies for a new kind of local administration in which the people play a major role—one where the people and government can work together as one.

Nakagawa is also taking steps to leave its beautiful natural surroundings and attractive living environment improved for the next generation.

I hope this town handbook will help you to appreciate Nakagawa.

那珂川町長
川崎 和郎



CONCEPT 1

安全・快適なユニバーサルデザインのまちづくり

誰もが利用しやすく安全で快適な都市基盤の整備・充実を図っています。

本町に残る歴史ある街並みや緑と清流が織り成す美しい自然環境を後世に伝えるため、長期的展望に立った適正かつ効率的な土地利用を推進しています。また、道路・公園・下水道といった都市機能を充実させ、自然環境と調和したまちづくりを目指しています。

広域的交通、均衡ある発展、町民の生活利便性の向上、交通弱者の支援など、あらゆる観点から効果的で効率的な道路整備や公共交通機関の整備を推進しています。また、「那珂川町馬頭広重美術館」を核とした「にぎわいのあるまちづくり」のために街並環境に配慮した道路整備を推進し、人と環境にやさしいユニバーサルデザインの道路交通環境の整備に努めています。

誰もが自然の豊かさと安らぎを実感できるよう、気軽に立ち寄れる小公園や緑地帯を整備するとともに、住民参加の緑化活動を積極的に支援しています。



緑の多い歩道



街並環境整備事業



町営住宅



※



日常生活において安心が実感できる 生活環境基盤の整備・充実を図ります。

若年層から高齢者までが安心して暮らせる居住空間を計画的に供給するとともに、快適で安全な生活環境の向上に努めています。また、上水道基盤の管理保全や水源確保、下水道基盤の整備を図り、安定した水道水供給と適正な汚水処理を推進しています。

消防、防災、交通安全、防犯基盤の整備強化により、災害に強いまちづくり、事故や犯罪のない安全なまちづくりを目指しています。

「地域高度情報化推進プロジェクト」を設置し、ケーブルテレビを核とした地域高度情報化・ネットワーク化を促進させ、誰もが、いつでも、どこでも情報を受発信できるユビキタス社会の実現を目指しています。



下水処理施設(馬頭浄化センター)



町営のケーブルテレビによって自主番組を放送

コラム

COLUMN

官民一体となって「住んで良かった」と思えるまちに

馬頭商工会理事

荒井 照通さん

「住んでよかった」「来てよかった」「また来てみたい」と言ってもらえるよう、自然・文化を活かし、人が中心となって手作りの良さ・心からのおもてなしなどを実行していきたい。そして小さい町でも出来る、小さいからこそ出来る！を合言葉に、この山間の町から本物の良さを独自に発信し、みんなで力を合わせていい町にしていきたいです。



災害に強いまちづくりのための消防訓練

By taking measures to improve health, medical treatment, welfare, the decreasing birthrate and the aging of society, we are enabling everyone—young and old—to live a fulfilling life, healthy in mind and body, supporting each other in their home town.

CONCEPT 2

笑顔あふれる元気で心あたたかなまちづくり

保健・医療・福祉・少子高齢化対策などの充実に努めます。

乳幼児から高齢者まで一貫した健康管理ができる体制づくりを強化し、町民一人ひとりが「健康をつくる」意識を高め、健康習慣づくりができる環境を整備しています。

誰もが住み慣れた地域で互いに支え合いながら安心して暮らせる地域社会の実現のために、保健・福祉・医療・介護の連携による在宅福祉サービスの充実や、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指しています。また、誰もが生きがいを持って暮らせるよう、社会参加活動や生涯学習、ボランティア活動の一層の充実を図っています。

少子化に対しては、安心して出産・子育てができるよう、保健・医療・福祉・教育、そして地域社会が一体となった総合的な子育て支援体制をさらに強化し、未来を担う子どもたちが健やかに育つための環境整備に努めています。



小川第1保育園



おかあさん塾



親と子の料理教室



デイサービス事業

社会保障の充実や人権擁護・男女共同参画・青少年健全育成の向上に努めます。

医療費適正化対策などにより健全な保険事業の運営を図るとともに、介護保険・国民健康保険・老人医療等における各種施設やサービスの充実に努めています。

人権擁護や男女共同参画においては町民一人ひとりが互いを尊重しあい、性別に関わりなくその個性と能力をあらゆる分野で発揮できるよう、町民の意識改革や普及啓発活動に努めています。また、青少年がそれぞれの夢に向かって前向きに、かつ社会的に自立した個人として成長できるよう、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成に力を注いでいます。



楽しい給食(和見小学校)

コラム

COLUMN

さまざまな交流活動を通して
高齢者が楽しく暮らせるために

交通安全協会女性部

深沢 波子さん

交通安全協会女性部では、毎月お弁当を作って高齢者宅を訪問し、話し相手をしたり、会員が作ったお手玉を差し上げて一緒に遊んだり、履物に反射板(夜間の外出で目立つように)を貼ってあげたりと、さまざまな交流活動を行っています。また町内のバリアフリー調査や地域の高齢化率を調査したりして、高齢者に優しいまちづくりを提案しています。



ご本人は写真右



CONCEPT 3

人を育て未来を拓くまちづくり

地域の特性を活かした特色ある学校教育や生涯学習の充実を図ります。

「いきいき栃木っ子3あい運動（学びあい、喜びあい、はげましあい）」を推進するための教育環境を整備し、一人ひとりの個性を尊重しながら、豊かな心を持った児童・生徒の育成に力を注いでいます。また、高度情報化社会に対応した能力を身につけるために、コンピュータや通信ネットワークを活用した情報教育の充実に努めています。

生涯学習を奨励するために生涯学習施設の整備や人材の育成に努めるとともに、「いつでも、どこでも、誰でも」学ぶことができる学習機会や成果発表の場の充実を図っています。

スポーツやレクリエーションに関しては、「町民一人1スポーツ」を目標に各種スポーツの振興や体育施設の充実を図るとともに、町民自らが運営する地域スポーツクラブの設立を支援し、町民の健康づくりに努めています。



コンピュータや通信ネットワークを活用しています。（馬頭東中学校）



マイチャレンジ事業（職場体験）



「町民一人1スポーツ」を目標にしたスポーツ振興活動

広い視野を持った人材を育成するために 文化の振興と国際交流の推進に努めます。

町民が身近に芸術・文化に親しむことで幅広い教養を身につけ、地域の文化活動にも積極的に参加できるよう、生涯学習と連携した総合的な文化振興を図っています。また、本町に存在する歴史的・文化的な資源を有効活用するとともに、地域に密着した生活文化や伝統芸能を保存・継承し、郷土の文化に誇りが持てるまちづくりを進めています。

国際化については、海外体験学習や国際理解教育、語学教育、国際交流事業などの充実を図り、国際化に対応したまちづくりや国際的な視野を持った人材の育成に努めています。



コラム

国際交流事業を通して国際理解と
ふるさとの文化の再確認を

大山田小学校教諭

平山 紀子さん

姉妹都市の米国ホース
ヘッズ村に行ってみて、
村の人たちのあまりの日
本びいきに驚きました。
そして、改めて日本文化
のすばらしさを認識し、
誇らしい気持ちになりま



ご本人は前列一番左

した。外国の人たちとの交流を深めるためには、まず自
分の住んでいる町や地域の良さを知ることが第1歩だ
と思います。言葉は通じなくても、郷土を愛する熱い思
いはきっと伝わるのではないのでしょうか。



ウィークエンド in なかがわ

